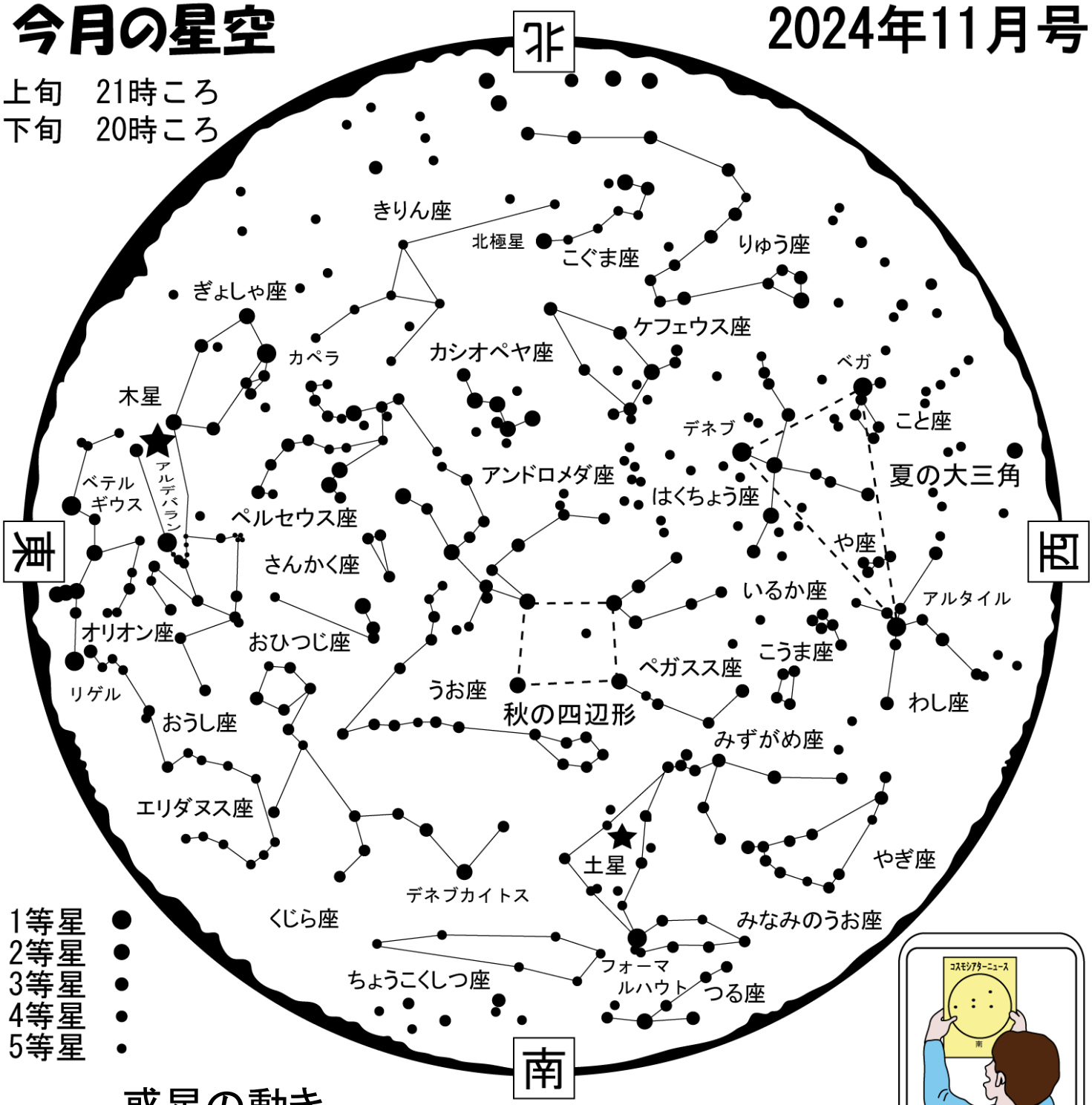
コスモシアターニュース

今月の星空

2024年11月号

上旬　21時ころ
下旬　20時ころ



1等星 ●
2等星 ●
3等星 ●
4等星 ●
5等星 ●

自分の向いている方向を下にして、見てください

惑星の動き

水星：見かけ上太陽に近く、肉眼で見つけるのは難しい。
金星：夕方、南西から西の低い空に見えます。明るさは-4 等星です。5 日に、月と並んで見えます。
火星：真夜中ころ、東の空に見えます。明るさは 1 等星です。20 日の深夜、月と並んで見えます。
木星：夜遅く、東の空に見えます。明るさは-2 等星です 17 日に、月と並んで見えます。
土星：夜の初め、南の空に見えます。明るさは 1 等星です。11 日に、月と並んで見えます。

今月の月の満ち欠け

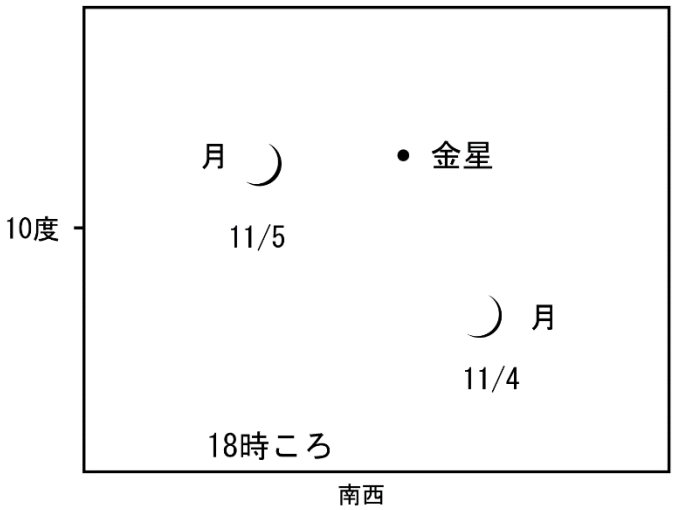
新月：1 日(金)　上弦：9 日(土)　満月：16 日(土)　下弦：23 日(土)

5 日(火)、夕方南西の空で、月と金星が並んで輝く

5日(火)の夕方、南西の低い空で月と金星が並んで輝き、美しい眺めとなります。この日の日没は、17時15分ころです。日の入り後、しばらくすると、南西の低い空に、大変細い月が見えてきます。そして、この月の少し右側に、金星が見えてくるでしょう。

金星が大変明るいので、日没後20分ぐらいたつと見やすくなります。そして、日没後約45分の18時ころが最も見やすくなるでしょう。ただし、高さが低いので、南西方向の見晴らしのいい所でご覧ください。その後、19時を過ぎると沈んで見えなくなります。

なお、前日の4日(月)の夕方も、月と金星の接近が見られます。ただし、月の高度が低く、南西方向の見晴らしがいい所でないと見えません。また、月は金星の下側の位置になります。



11日(月)、月と土星が並んで輝く

19 時から 20 時ころ南の空に、半分より少し太めの明るい月が輝きます。そして、目をこらして見ると、この月のすぐ右側に、明るい星が見えます。この星が土星です。月が明かり眩しいので、手で月を隠すように見ると見やすくなります。

17日(日)、東の空で、月と木星が並んで輝く

17日(日)の19時すぎ、東寄りの空に、半分より少し太い月が昇ってきます。そして、この月のすぐ右下を見ると、大変明るい星があるのが分かります。この明るい星が、木星です。19時ころは高さが低いので、あまり目立ちません。しかし、21時ころになると高さが高く目立ってきます。少し遅めの時間に見るといいでしょう。

18 日(月)、しし座流星群が極大

18 日(月)の明け方前に、しし座流星群が極大となります。ただし、活動の予想は低調です。また、月明りがあるので、多くても、1 時間当たり 5 個程度の流星が見られるでしょう。見ごろは午前 2 時～4 時ころの東の空です。

20日(水)、深夜東の空で、月と火星が並んで輝く

20日(水)の22時すぎ、東寄りの空に、ほぼ半分に欠けた月が昇ってきます。そして、この月のすぐ下側を見ると、オレンジ色のやや明るい星が見えます。この星が火星です。木星ほどは明るくないので、注意深く探してください。なお、21日(木)に日付が変わるころには、高さが高くなり見やすくなるでしょう。

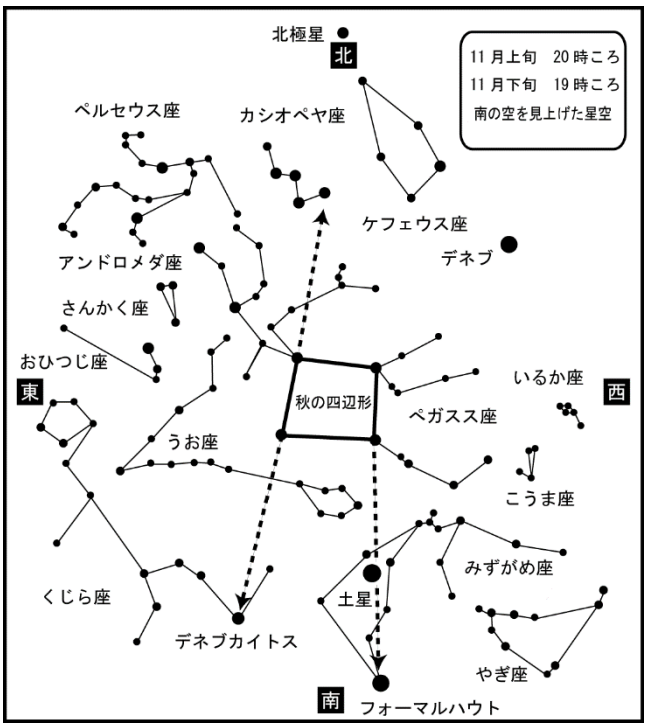
秋の星を見つけよう

右の図のように、秋の四辺形を使うと見つけることができます。時刻は、11 月上旬の 20 時ころ、下旬ですと 19 時ころです。そして、見る上げる方角は、南の空を見た時の様子です。右が西、左が東、下が南で上が北になります。

秋の星の見つけ方ですが、たとえば、秋の四辺形の右側の辺を結んで、南側に伸ばすとフォーマルハウトが見つかります。この星は、秋の星座の中でただひとつの 1 等星で、秋のひとつ星や南のひとつ星と呼ばれます。今年は、フォーマルハウトの上側のみずがめ座に土星が輝き、いつもとは違った姿になっています。

また、左側の辺を結んで、同じように南側に伸ばすと、くじら座のデネブカイトスにたどり着きます。

いっぽう、左側の辺を結んで北に伸ばすと、カシオペヤ座（となりにケフェウス座があります）をとおり、北極星へたどり着きます。

このころ、秋の四辺形は、ほぼ頭の真上に輝いています。まず頭の真上を見上げて、四辺形を見つけ、秋の星座たちを見つけてみてください。

なお、11 月は 16 日が満月になります。満月のころは、月が明るく星が見にくいことがあります。星座を見つけるには、上旬か、下旬がいいでしょう。